

	リユーピーネット発信日	発生地	被害者	手口	被害額等	事案詳細
1	R8.4.24	福井・坂井	60代女性	架空料金請求詐欺	約30万円相当のギフトカード	被害者の携帯電話に「+1」で始まる国際電話から連絡があり、電話会社を名乗る男から「契約した携帯の未納料金があります。きょう中に29万9800円を支払ってください」と要求された。 被害者は男に指示された通り自宅近くのコンビニエンスストアで約30万円分のギフトカードを購入し、その番号を男に伝えて利用権をだまし取られたもの。 その後、被害者の元には男からさらなる要求があり、コンビニで再びギフトカードを購入しようとした際に店員から「詐欺ではないか」と声をかけられ、警察に相談して被害が発覚した。
2	R8.4.24	丹南	60代男性	還付金詐欺	現金約50万円	被害者宅の固定電話に地元市役所の職員を名乗る男から連絡があり「医療費の還付金があります」と持ち掛けられ、自宅近くのATMに行くよう指示された。 被害者は自宅近くの金融機関の無人ATMに向かい、男と携帯電話で通話したまま指示に従ってATMを操作し、自分の口座から男が管理する口座に約50万円を送金し、だまし取られたもの。 被害者は、還付金を受け取ることができると思い込んでATMを操作しており、振り込み後に話を聞いた家族が詐欺に気付き、被害が発覚した。
3	R8.5.8	嶺南	80代女性	還付金詐欺	現金約50万円	被害者の自宅電話に町役場の職員を名乗る人物から「医療保険の過払い金がある」などと連絡があり、還付金を受け取れると思い込んだ被害者は、誘導された自宅付近のATMで、携帯電話で通話した状態で指示される通りに操作し、自身の口座から約50万円を犯人の口座に振り込みだまし取られたもの。
4	R8.5.15	丹南	建設会社	消毒液の代理購入	現金1350万円	被害に遭った建設会社は、知人関係にある取引業者から実在する県内の病院の副院長をかたる男を紹介され、電話で病院施設の修繕工事の話を進めていた。 その後、男から「備品仕入れ業者との関係が悪くなってしまった。代わりに備品を購入してほしい。購入代金は後日支払う」などと持ち掛けられ、仕入れ業者を紹介され、病院で使う消毒液などの備品を購入するため、その業者とLINEでやり取りし、4月末に指定された複数の口座に5回にわたり現金1350万円を振り込んだもの。 5月になっても仕入れ業者から備品が届かず立て替えた代金も支払われないため、病院の電話番号を調べ確認したところ「そのような話はしていない」と言われ、だまされたことに気付き警察に被害届を提出した。
5	R8.5.18	福井・坂井	建設会社	消毒液の代理購入	現金約106万円	被害に遭った建設会社は、取引のある不動産会社から施設のリフォームを検討しているという病院関係者を名乗る人物を紹介され、電話でのやり取りの中でこの病院関係者を名乗る人物は、この会社に対し「病院の代わりに消毒液を買ってほしい。今日中に発注してもらえれば、明日割増して払うなど」と言い、消毒液の業者を名乗る人物を紹介した。 その後、指定された口座に現金約106万円を振り込んだものの、この業者と連絡が取れなくなったことから警察に相談し被害が発覚した。
6	R8.6.16	丹南	50代男性	架空請求詐欺	現金約114万円	被害者は知人から「もうけ話がある」と言われ、ある会社？のLINEの公式アカウントを紹介された。 その後、このアカウント内で「携帯電話回線を契約すれば回線数に応じたキャッシュバックが受けられる」「3カ月契約すれば1回線当たり4万3166円の利益が出る」といわれ、被害者は52回線を契約、月額料金や事務手数料として合わせて約114万円を指定された電子決済サービスの支払先に3回に分けてクレジット決済したもの。 不審に思った男性が知人に相談すると「この話は詐欺だ」と言われたため警察に相談した。
7	R8.7.1	福井・坂井	10代女性	架空請求詐欺	現金105万円相当	被害者は、スマートフォンのアプリ・TikTokに表示された有料サイト広告にアクセスしたところ「年会費45万円」の案内とメールアドレスが表示されたことから、解約しようとメールを送信した。その後、返信メールに記載されていた番号に電話をかけたところ、退会専用担当者を名乗る男から折り返し連絡があり「解約するためには一度45万円を支払う必要がある。お金は後に返金される」と言われ、ギフトカードを買って郵送するよう指示され、コンビニエンスストアで購入した45万円分のギフトカードの利用権コードを電話で男に伝え、指定された住所にギフトカードを郵送した。翌日、再び男から電話があり「他に2つのサイトにも登録しているので、その分の90万円も支払わないといけない」と持ち掛けられたが、被害者は手持ちが60万円しかない事を伝えと、その分のギフトカード購入を指示され、2日にわたって30万円ずつ購入し、いずれも利用権コードを電話で伝え、カードを指定された住所に郵送し、計105万円をだまし取られたもの。その後も男とのやり取りは続いたが、不審に思った女性が警察に相談し被害が発覚した。
8	R8.7.2	丹南	80代女性	還付金詐欺	現金約49万円	被害者は、町役場の職員をかたる男から「医療費の還付金があります」などと連絡を受け、その後、還付金を受け取る手続きのためと町内にあるコンビニのATMに誘導され、携帯電話で通話したままATMを操作し、指定された口座に約49万円を送金しだまし取られたもの。

9	R8.7.2	福井・坂井	就労支援事業所	架空請求詐欺	現金500万円	被害にあった法人の代表メールアドレスに理事長をかたる人物から「後続の業務調整に備え、LINEの業務グループを新規に作ってください」というメールが届いたため、職員が指示通りLINEグループを作成し、その理事長をかたる人物を招待したところ「支払いが必要な分がありますので、先に支払いを済ませてから行ってください。終わったら振込明細のスクリーンショットを送って」と指定された口座に500万円を振り込むよう指示があり、この職員は指定された口座に現金500万円を振込送金し、だまし取られたもの。
10	R8.7.17	福井・坂井	専門商社	架空請求詐欺	現金3000万円	福井市内の専門商社の代表メールアドレスに、社内に実在する取締役を名乗る人物から「LINEのグループを新規に作ってください」とメールが届いた。 社員がグループを作ったところ「これから3000万円の支払いがある。振り込みの手続きを進めて」という業務指示が届いた。 これを受けた社員は指定された口座に3000万円を振り込みましたが、翌日、さらに「1700万円を振り込んでほしい」と指示があったため、取締役役に電話で直接確認したところ「身に覚えがない」と言われ、詐欺と発覚したもの。